

株式会社高田工業所

ノーコードツールの導入によりデジタル人材育成を後押し kintoneとCoreでシステム構築を内製化！開発コスト50%以上削減

株式会社高田工業所は1940年に創業し、基礎素材産業をはじめ、さまざまな産業設備の設計から調達、製作、建設、メンテナンスまでを担う産業プラントエンジニアリングのパイオニア。2040年の創業100周年に向け、これまで培った技術・技能を活かし、装置事業やエンジニアリング事業へと事業の範囲を拡大するとともに、ICTやデジタル化を積極的に取り入れ、時代の変化に対応した事業展開を図っている。その取り組みの一環としてICT推進部（現・デジタル改革推進部）が発足し、これまでシステム化されてこなかった業務のシステム化・効率化を進めている。従来、システム開発は情報システム部門に依頼、もしくは外部委託するしかなかったが、kintoneをはじめとするノーコードツールを導入し、スピードアップ、コストダウン、ノウハウ蓄積、デジタル人材育成などを見据えて、内製化を推進。現在、kintoneを活用した業務のシステム化を進めているが、より幅広い業務に活用するため、ノーコードデータ連携ツール「ASTERIA Warp Core+」を導入した。

課題・目的

- kintoneの活用が広がるにつれて、複雑なデータ加工や基幹システム連携など、kintoneだけでは実現が難しいシステム化依頼が増え、対応していく必要があった
- 開発スピードや柔軟性を高めるため、業務アプリだけでなくデータ連携の内製化も目指していた
- 数万件のデータを処理することもあり、大量データを高速処理できるツールを必要としていた

選定ポイント

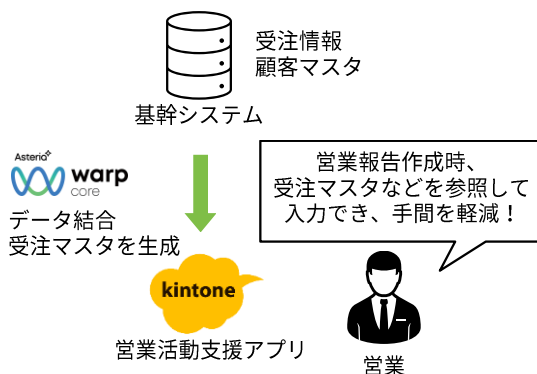
- kintoneのデータ取得や書き込みを直感的に操作できるアダプターがあり、システム間のデータ連携が容易
- 迅速かつ柔軟に内製が可能なユーザービリティ
- 大量データの高速処理を実現可能
- 対応連携先が豊富なため、将来の連携システムの追加にも柔軟に対応可能

効果

- kintoneで業務アプリ、Coreでデータ連携を内製化できるようになり、対応可能な業務範囲が大幅に拡大
- 外部委託と比べ開発コストを50%以上削減。ノーコードの超高速開発により小規模案件であれば数日でサービスインが可能に
- プログラミング未経験者でも開発可能なため、今後のデジタル人材育成にもつながる

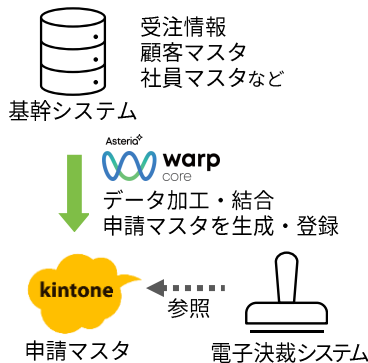
システム概要

【営業活動支援システム】



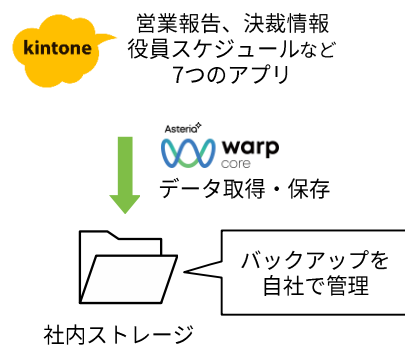
実行間隔	1時間(7~23時)
データ件数	数百~数千件

【電子決裁システム】



実行間隔	1時間(7~23時)
データ件数	数百~数千件

【kintoneデータバックアップ】



実行間隔	日次
データ件数	~約10万件

ユーザーのひと言



複数のクラウドシステムを組み合わせることで業務効率化に取り組んでいますが、さまざまなシステムのデータを連携させることが欠かせません。この時、ノーコードで簡単にデータ連携処理を作成できるCoreは大変役に立っています。Coreやkintoneなどのノーコードツールにより内製化を実現でき、開発コストの削減と業務担当者の意見を取り入れながらの柔軟なシステム開発ができるようになりました。今後、これらのノーコードツールを活用して、デジタル人材育成にも力を入れていきたいです。

デジタル改革推進部 讚井 将司 様

User Profile

TAKADA

株式会社 高田工業所

所在地：福岡県北九州市八幡西区築地町1番1号

会社概要：基礎素材産業をはじめ、さまざまな産業設備の設計から調達、製作、建設、メンテナンスまでを担う産業プラントエンジニアリングのパイオニア

業種：建設業

URL：https://www.takada.co.jp/